

東 北 地 方 交 通 審 議 会
第 2 1 2 回 船 員 部 会

議 事 要 録

令 和 8 年 6 月 2 6 日
東 北 地 方 交 通 審 議 会
船 員 部 会 事 務 局

東北地方交通審議会

第 2 1 2 回船員部会

日 時 令和 8 年 6 月 2 6 日 (木) 1 3 : 3 0 ~ (WEB開催)

場 所 仙台第 4 合同庁舎 4 階会議室

出 席 者 公益委員 : 阿部部会長、庄司委員、豊田委員、古谷委員

労働者委員 : 高橋委員、甲斐委員、奈良委員

使用者委員 : 千葉委員、平岡委員、村上委員

運 輸 局 : 鈴木海事振興部次長

菅野船員労働環境・海技資格課長、

佐々木船員労政課長、田口主任指導官、今泉労政係長

1. 開 会

2. 議 題

(1) 管内の雇用等の状況について

(2) 情報提供について

(3) その他

3. 閉 会

(資料)

資料 1 船員職業安定業務取扱状況説明資料 (4 月分)

資料 2 新規求人・求職数 (東北管内 : 3 年対比)

資料 3 有効求人・求職数 (東北管内 : 3 年対比)

資料 4 新規求人・求職数 (全国)

資料 5 有効求人・求職数 (全国)

資料 6 有効求人倍率 (東北管内)

資料 7 有効求人倍率 (全国)

資料 8 船員等海事産業人材の確保・育成

参考資料 船員の特定最低賃金の改正に関する検討資料

◎開 会

【鈴木海事振興部次長】

海事振興部の鈴木です。お疲れさまでございます。本日もよろしくお願いいたします。

定刻前ではありますが、委員の皆様がおそろいになりましたので、ただいまから第212回船員部会を開催させていただきます。

議事に入ります前に、事務局より報告事項が2点ございます。

1つ目ですが、このたび東北地方交通審議会船員部会に国立宮古海上技術短期大学校校長の庄司大志様に臨時委員の公益代表として就任いただきました。

ここで庄司委員に一言ご挨拶をお願いしたいと思います。

【庄司公益委員】

宮古海上技術短期大学校で校長をしている庄司といいます。よろしくお願いいたします。

当会の臨時委員を務めさせていただくことになりました。前任校は愛媛県今治市にある波方海上技術短期大学校、こちらで勤務してまいりました。4月から宮古の校長になりました。よろしくお願いいたします。

以上です。

【鈴木海事振興部次長】

ありがとうございます。

2つ目ですが、本日、海事振興部長の居石が所用のため欠席しております。皆様、ご了承願います。

〔第212回船員部会の成立状況について報告〕

〔配付資料確認〕

それでは、議事に入らせていただきます。

阿部部会長、よろしくお願いいたします。

◎議 事

【阿部部会長】

阿部です。本日もよろしくお願いいたします。

それでは、早速議事に入りたいと思います。お手元にあります議事次第の順番で進めさせていただきます。

まずは、「議題（１）管内の雇用等の状況について」、事務局より報告をお願いいたします。

〔佐々木船員労政課長から資料１～７に基づき説明〕

【阿部部会長】

ただいま事務局から各種資料の説明がありました。

皆様から何かご意見あるいはご質問等がありましたらよろしく願いいたします。いかがでしょうか。

【甲斐労働者委員】

１件よろしいでしょうか。

【阿部部会長】

よろしく願いします。

【甲斐労働者委員】

八戸支部の甲斐です。

１件教えていただきたいのですが、３月に遠洋マグロ漁船の減船がございました。離職者には求職手帳を交付して求職をしてもらうことになっていると思いますが、今の資料１の13ページの表に、その人数などが反映をされているのかどうかという質問です。

もし反映されていないのであれば、現在、東北管内で何件ぐらいそういった申請があるのか教えていただきたいと思います。

以上です。

【阿部部会長】

ありがとうございました。

事務局、いかがでしょうか。

【佐々木船員労政課長】

減船に係る求職手帳の発給状況でございますけれども、今現在、東北管内では、気仙沼で2名の方、本局管内で1名の方、それから石巻でこれから申請予定の方が1名いるという状況になっております。実際に手帳発給した方は3名の方になっておりますが、そのうち気仙沼の2名の方は、再就職が決まっていらっしゃると聞いております。

13ページの資料に反映されているかというところでございますけれども、先に失業給付の手続をしていただくので、数としては反映されているという形になっております。

以上でございます

【阿部部会長】

甲斐委員、いかがでしょうか。

【甲斐労働者委員】

ありがとうございました。承知いたしました。

【阿部部会長】

ありがとうございます。

そのほか、皆様から何かご意見あるいはご質問等ありましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。

それでは、ないようですので、ご了承いただいたものといたします。

続きまして、「議題（2）情報提供について」に入りたいと思います。

委員の皆様から情報提供等をお願いいたします。

初めに、労働者委員からご発言をお願いいたします。

高橋委員からお願いいたします。

【高橋労働者委員】

私から、1点報告します。

6月12日に、第10回東北地区船員就職支援懇談会を開催しております。東北の船員教育機関5校から6名の方、水産関係会社、業界団体合わせて45名が参加しております。

東北運輸局の佐々木船員労政課長より東北管内の求人・求職状況について説明していただき

ました。ありがとうございました。懇談会は2時間ほど行いまして、若年船員の確保、また育成、定着について懇談しております。

以上です。

【阿部部会長】

ありがとうございました。

続きまして、甲斐委員、お願いいたします。

【甲斐労働者委員】

八戸地区の状況です。

遠洋マグロ漁船2社6隻の労働協約改定交渉が妥結をいたしました。

妥結内容については、有効期間のほか、食料金と作業手当、また保障給の改善をいたしております。

保障給については1万円増額の甲板員で36万円ということで妥結をいたしております。

以上でございます。

【阿部部会長】

ありがとうございました。

続きまして、奈良委員、お願いいたします。

【奈良労働者委員】

それでは、気仙沼地区の情報について、1点報告いたします。

岩手県遠洋マグロ船主協会の令和8年度労働協約改定交渉の妥結内容について報告いたします。

月額保障給、員給Aで36万円、1万円増ということで、上位職につきましては係数展開で決まっております。

以上でございます。

【阿部部会長】

ありがとうございました。

そのほか、労働者委員の方から補足などありましたらよろしくお願いいたします。よろしい

でしょうか。

それでは、ないようですので、次に使用者委員からご発言をお願いいたします。

まずは平岡委員、お願いいたします。

【平岡使用者委員】

日本内航海運組合総連合会がまとめた2025年度の主要元請オペレーター58社による内航貨物船の輸送量は、前年横ばいの1億9,907万6,000トンでした。

貨物船全体では、おおむね前年並みの水準で推移したものの、品目別では明暗が分かれ、鉄鋼、燃料、紙・パルプ、自動車は前年を上回った一方、原料はほぼ前年並み、セメントは前年を下回りました。

年間累計では、鉄鋼が前年比102%、原料は99%、燃料は102%、紙・パルプは111%、雑貨は100%、自動車は101%、セメントは95%となっております。

2026年度も慢性的な人手不足や資材高騰などによる環境は変わらず、前年と同水準で推移する見込みとのことです。

以上です。

【阿部部会長】

ありがとうございました。

続きまして、千葉委員、お願いいたします。

【千葉使用者委員】

それでは、私から2点ほど報告させていただきます。

毎回なのですが、イラン情勢の不安定化から燃料高騰による影響が旅客船業界でも出始めておりまして、6月22日月曜日、河北新報の記事によりますと、全国124の離島航路のうち、少なくとも6航路が燃油高騰に伴う減便や値上げを検討しているとのことです。

我が東北旅客船協会の会員の中でも1社、運行ダイヤの一部を運休するという連絡を受けておりまして、今後のイラン情勢の動向が非常に懸念されるというか、注目されることとなっております。

続きまして、2点目なのですが、若者の海事産業への理解を深めるために、この気仙沼地区で、当部会の事務局でもあります東北運輸局で海洋キャリアセミナーが7月3日に開催されま

す。これは、中学生を対象に海事産業への理解・関心を高めて、将来の進路の選択肢として考えてもらうことを趣旨としております。

セミナーでは、実際に働いている現場見学や職業講話、乗船体験をしてもらいます。現場見学として気仙沼にございますみらい造船、職業講話では宮城県北部船主協会の事務局長の講話がございます。

乗船体験につきましては、弊社の大島汽船の遊覧船を利用いただき、その中で気仙沼市水産課さんや弊社のガイドからこの周辺の説明を受けることで、今後、海事産業への理解・関心をより一層高めてもらいたいと考えております。

以上です。

【阿部部会長】

ありがとうございました。

続きまして、村上委員、お願いいたします。

【村上使用者委員】

それでは、私から1点。宮城県北部船主協会に所属している気仙沼かなえ漁業株式会社では、昨年、近海マグロはえ縄船の操業体験プロジェクトを行いました。

このプロジェクトは以前の部会でも報告しておりますが、全国から乗船希望者を募り、実際の操業を体験してもらうことで、認知度と定着率の向上を目指す取組となっております。今年は2年目ということで、体験乗船者3名が乗船して、先週6月19日に気仙沼港を出港しております。

昨年の体験乗船者は、1名が現在でも気仙沼かなえ漁業の所有船に継続して乗船中で、このプロジェクトを通し若手船員の確保に取り組んでおります。

以上です。

【阿部部会長】

ありがとうございました。

ただいま使用者委員の方々から発言いただきましたけれども、ほかに使用者委員の方から補足することがありましたらよろしくお願いいたします。よろしいでしょうか。

なければ、情報提供全般について皆様から何かご意見あるいはご質問がありましたらお願い

いたします。ありませんか。

それでは、ないようですので、「議題（３）その他」に入りたいと思います。

資料８、参考資料について、事務局から報告をお願いいたします。

〔佐々木船員労政課長から資料８、参考資料に基づき説明〕

【阿部部会長】

ありがとうございました。

ただいま事務局から資料８と参考資料について説明がありました。

ただいまの報告内容について、何か皆様からご意見あるいはご質問がありましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。

なければ、本日の部会全般について、皆様から何かありますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、ないようですので、本日の議事に関しては終了となります。

次回の船員部会ですけれども、７月24日金曜日13時30分から、今回と同じようにウェブでの開催になります。

最後に、事務局から連絡事項等がありましたらお願いいたします。

【鈴木海事振興部次長】

事務局から議事要録についてご連絡いたします。

お手元にあります５月開催の第211回議事要録案につきまして、事前に郵送させていただいたところですが、内容をご確認いただき、修正等がございましたら、７月10日金曜日までにご連絡をお願いいたします。

また、第210回議事要録案につきましては、修正のご連絡をいただきましたので、正誤表のとおり修正いたしました。委員の皆様へ送付したものを議事要録確定版とさせていただきます。

以上で本日の船員部会を終了させていただきます。

皆様、大変お疲れさまでした。